

# 学生による授業評価調査用紙：講義・演習用

埼玉大学

担教員 当名	講番 義号	科目名
-----------	----------	-----



この調査は、学生の皆さんから授業に関する意見を聴いて、授業内容をよりよくするために行うものです。  
成績評価には全く関係ありませんので、率直な意見を回答してください。

※あなたの在籍学年にマークしてください。  
※留年生及び科目等履修生は最終年にマークしてください。

学部生	1年 ①	2年 ②	3年 ③	4年 ④	修士	1年 ①	2年 ②
-----	---------	---------	---------	---------	----	---------	---------

**記入上の注意**

- 必ずHBの黒鉛筆で、丁寧に塗りつぶすこと。
- 訂正する場合は、消しゴムできれいに消すこと。
- 用紙を汚したり、折り曲げないこと。

良い例  悪い例 

## I 講義・演習評価等

分類	No.	評価項目	評価
授業について	1	授業の到達目標・全体構成が、シラバスからよく理解できましたか。	← 理解できた (A) (B) (C) (D) (E) → そうは言えない
	2	シラバスに記載された事前準備・事後展開学修について、当該学修の指示・解説等は適切でしたか。	← 適切だった (A) (B) (C) (D) (E) → そうは言えない
	3	教材(教科書、プリント、板書、プロジェクタ画面など)の内容は、学修効果を上げるために適切なものになっていましたか。	← 適切なものになっていた (A) (B) (C) (D) (E) → そうは言えない
	4	授業中に出された課題(レポート、演習問題、小テストなど)は、授業の主要な目標や目的とうまく合致していましたか。	← 合致した (A) (B) (C) (D) (E) → そうは言えない
	5	授業は、あなたの思考力を養うため、あるいは専門知識を高めるうえで役立ちましたか。	← 役立った (A) (B) (C) (D) (E) → そうは言えない
教員について	6	教員は、到達目標にあった内容の授業を行いましたか。	← 到達目標にあった授業を行った (A) (B) (C) (D) (E) → そうは言えない
	7	教員は、授業に対して十分な熱意を持って講義していましたか。	← 熱意を持って講義をしていた (A) (B) (C) (D) (E) → そうは言えない
	8	教員の話し方、板書の書き方、PCプロジェクタ、ビデオなどの機器の利用の仕方は、適切でしたか。	← 適切だった (A) (B) (C) (D) (E) → そうは言えない
	9	教員は、授業を時間どおり行いましたか。	← 時間どおり行った (A) (B) (C) (D) (E) → そうは言えない
	10	教員は、授業への学生の参加(質問、発言)を促し、あなたの質問に対して、あなたが分かるように答えましたか。	← 参加を促し、分かるように答えた (A) (B) (C) (D) (E) → そうは言えない
授業全体について	11	授業は、上記の項目も含め総合的に判断して、満足できるものでしたか。	← 満足できる (A) (B) (C) (D) (E) → そうは言えない
あなた自身について	12	授業にどれくらい出席しましたか。	ほぼ全回 (A) 3/4以上 (B) 3/4未満 (C)
	13	この授業1回当たり事前準備・事後展開学修に費やした時間は平均何時間ですか。	4時間以上 (A) 2~4時間未満 (B) 1~2時間未満 (C) 1時間未満 (D) 0時間 (E)
	14	授業中、教員の話を理解するよう努力しましたか。	毎回努力した (A) 普通に聴いた (B) 散漫に聴いた (C)
	15	*予備欄	← (A) (B) (C) (D) (E) →
	16	*予備欄	← (A) (B) (C) (D) (E) →

\*予備欄は、各学部等独自の評価項目がある場合に使用

## II 授業の改善に資するためのコメント

良い点	改善すべき点

# 学生による授業評価調査用紙：実験用

埼玉大学

担教員 当名	講番 義号	科目名
-----------	----------	-----

この調査は、学生の皆さんから授業に関する意見を聴いて、授業内容をよりよくするために行うものです。成績評価には全く関係ありませんので、率直な意見を回答してください。

※あなたの在籍学年にマークしてください。  
※留年生及び科目等履修生は最終年にマークしてください。

学部生	1年 ①	2年 ②	3年 ③	4年 ④	修士	1年 ①	2年 ②
-----	---------	---------	---------	---------	----	---------	---------

**記入上の注意**

- 必ずHBの黒鉛筆で、丁寧に塗りつぶすこと。
- 訂正する場合は、消しゴムできれいに消すこと。
- 用紙を汚したり、折り曲げないこと。



## I 実験評価等

分類	No.	評価項目	評価
実験について	1	実験の全体構成と各項目の意義と目的が、シラバスからよく理解できましたか。	← 理解できた (A) (B) (C) (D) (E) → そうは言えない
	2	シラバスに記載された事前準備学修について、当該学修の指示・解説等は適切でしたか。	← 適切だった (A) (B) (C) (D) (E) → そうは言えない
	3	各実験項目は、講義との関係や実験技術習得及び原理の理解などに十分配慮して選択されていましたか。	← 十分配慮して選択されている (A) (B) (C) (D) (E) → そうは言えない
	4	テキストは実験を通じた学修の効果を上げるために、適切なものとなっていましたか。	← 適切なものだった (A) (B) (C) (D) (E) → そうは言えない
	5	実験は、あなたの思考力を養うため、あるいは専門知識を高めるうえで役立ちましたか。	← 役立った (A) (B) (C) (D) (E) → そうは言えない
設備等について	6	実験機器や設備は十分整備されていましたか。また、人数分に見合った機器が用意され、維持管理は適切になされていましたか。	← 適切になされている (A) (B) (C) (D) (E) → そうは言えない
	7	化学物質、電気、機械類、重量物などを取り扱う際、安全管理面への配慮は十分になされていましたか。	← 十分になされている (A) (B) (C) (D) (E) → そうは言えない
教員等について	8	担当のスタッフ(教員、技術職員、TAなど)は、実験の指導に十分な時間を費やし、きめ細かな指導をしましたか。	← きめ細かな指導をした (A) (B) (C) (D) (E) → そうは言えない
	9	器具の取り扱い、機器の使用法、実験操作法など実験操作技術に関する指導は十分でしたか。	← 十分であった (A) (B) (C) (D) (E) → そうは言えない
レポートについて	10	レポート課題は適切に選択されていましたか。内容の深い理解の助けになり、考える力を養う上で役立つものとなっていましたか。	← 役立つものとなっていた (A) (B) (C) (D) (E) → そうは言えない
	11	データの整理、レポートの書き方、また、不備なレポートの再提出や、返却されたレポートへコメント記入など、十分な指導がありましたか。	← 十分な指導があった (A) (B) (C) (D) (E) → そうは言えない
実験全体について	12	実験は、上記の項目も含め総合的に判断して、満足できるものでしたか。	← 満足できる (A) (B) (C) (D) (E) → そうは言えない
あなた自身について	13	この実験の事前準備学修・レポート作成に費やした時間は、週あたり何時間くらいですか。	4時間以上 (A) 2~4時間未満 (B) 1~2時間未満 (C) 1時間未満 (D) 0時間 (E)
	14	実験に集中できましたか。実験の意味を考えながら行うように努力しましたか。	毎回努力した (A) 普通に実験した (B) 散漫に実験した (C)
	15	*予備欄	← (A) (B) (C) (D) (E) →
	16	*予備欄	← (A) (B) (C) (D) (E) →

\*予備欄は、各学部等独自の評価項目がある場合に使用

## II 授業の改善に資するためのコメント

良い点	改善すべき点